

金沢大学英文学会学会行事・消息 (昭和33年, 34年)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-02 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/39116

学 会 行 事 ・ 消 息

昭和33年5月24日

金沢大学英文学会総会（法文学部2号館会議室にて、出席者63名）

大沢教授に依る挨拶及び一般状況報告の後、山本元教授に名誉会長の称号を贈ることに決定、会長・副会長選出の件について討議した。次いで研究発表を行った。

高島恵美子：DonneのLoveについて。

輪島 士郎：Shelley 評価の問題。

7月12日

英文学会委員会 午後2時

会則変更の件について討議されたが、その結果は金沢大学英文学会会則に掲載された通りである。

10月1日

Mr. Collier 赴任

10月16日

乾尚史助手赴任

10月28日

新入生歓迎会 二号館会議室にて。

大沢教授が本会の概括を述べられ、各先生方から激励の言葉があった後、新入生並びに在学生各自の自己紹介を行って終始なごやかな裡に会を終った。

昭和34年1月24日

金沢大学英文学会総会（法文学部2号館会議室にて、出席者、68名）

昭和33年7月12日の委員会において作製された会則改正案を承認した。

研 究 発 表

田 谷 治 子 }
丸 岡 孝 子 } Sherwood Anderson 論

大 木 俊 雄：Macbeth と Richard III について

道 林 修 三：Wordsworth 論

1月31日

塚本貞二講師退官

昭和34年度、日本ハーディ協会第3回大会及び日本中部英文学会第11回大会が10月頃金沢大学で開催される。